学校番号	３２２

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	３年次 （体育科）
使用教科書	新訂版「世界史Ａ」　（実教出版）						
副教材等	ニューステージ世界史詳覧　（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

① 近世以降の歴史に重点を置き、そこから現代の歴史と結びつくことを検証し探求していく。
② 歴史的事象に関心を持ち、他地域との関係も考えグローバルな視点も取り入れる。
③ 世紀、地域を超えて世界の歴史をとらえ、過去・現在の日本との関わりを考える。

2　学習の到達目標

① おもに近世以降の歴史の事実を正しく理解し、歴史的思考力、認識力を養う。
② 諸地域の歴史にみられる諸問題、諸課題を考察し、現代の諸課題と結びつけて歴史的観点から考察する。
③ 世界の歴史を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら幅広く学習し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に探究し、国際社会に主体的に生き、国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	諸地域の歴史にみられる諸問題、諸課題を考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	ＩＣＴなどを活用して近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	ユーラシアの諸文明と交流	・文明のはじまり ・ユーラシア諸文明の特質 ・ユーラシアの交流	 ○	○ ○ 	 ○ ○	○ 	a:ユーラシア各地に形成された諸文明の特質と、ユーラシアの交流について感心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:ユーラシア諸文明と交流の特質を見出し、地域世界相互の文化変容などと関連付けながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:ユーラシア各地に形成された諸文明と交流の特質について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート レポート 小テスト
	むすびつく世界と日本	・世界の一体化の第一歩 ・ルネサンスと宗教改革 ・ヨーロッパの主権国家体制 ・アジアの繁栄 ・世界経済体制の形成	○ ○ 	 ○ ○ ○	○ ○	 ○ ○ 	a:大航海時代におけるヨーロッパの海外進出、ルネサンスと宗教改革などの動き、ヨーロッパの主権国家体制の成立、アジアの諸帝国の繁栄などに対する関心を高め、意欲的に追及する。 b:設定された時代の諸地域の特質を見出し、世界商業の進展などに関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:ヨーロッパを中心とした世界の広がりを地図資料で確認し、関係する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:大航海時代におけるヨーロッパの海外進出、ルネサンスと宗教改革などの動き、ヨーロッパの主権国家体制の成立、アジアの諸帝国の繁栄について理解し、その知識を身につける。	定期考査 ワークシート レポート 小テスト

2学期	19世紀の世界の一体化と日本	・産業革命と工業化社会の成立 ・アメリカ独立戦争 ・フランス革命とナポレオン戦争 ・ウィーン体制とその崩壊 ・ヨーロッパ国民国家の発展 ・アジア・アフリカ・ラテンアメリカの変動 ・東アジアの変容と日本の近代化	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:産業革命期前後の諸地域世界の様子について、社会の変化と新たな社会の成立、ヨーロッパの進出によるアジア・アフリカ・ラテンアメリカの変貌に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:市民革命期前後の諸地域世界の変貌の特質を見出し、19 世紀の世界の一体化と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 18 世紀以降後期以降の諸地域世界の変貌に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d: 18 世紀後期以降の諸地域世界の変貌についての基本的な事柄を 19 世紀の世界と関連付けて理解し、その知識を身につける。	定期考査 ワークシート レポート
	2つの世界大戦	・激変する社会と帝国主義 ・第1次世界大戦とロシア革命 ・戦間期のヨーロッパとアメリカ ・民族運動の高まり ・第2次世界大戦	 ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ 	○ ○ ○ 	a:19 世紀末から 20 世紀初頭に見られた社会の急激な変化や、二つの世界大戦の原因や影響と平和の意義などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:20 世紀初頭に見られた社会の急激な変化の具体的な様相や、二つの世界大戦の原因や影響と平和の意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している c:20 世紀という時代の特質、二つの世界大戦の原因や総力戦としての性格、に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d: 20 世紀という時代の特質、二つの世界大戦の原因や総力戦としての性格についての基本的な事柄を、両大戦の影響と平和の意義などと関連付けて理解し、その知識を身につける。	定期考査 ワークシート レポート

3学期	第二次世界大戦後の世界と日本	・冷たい戦争 ・アジア・アフリカ諸国の独立と混乱 ・多極化の進展と冷戦体制の崩壊 ・現代の世界	 ○ ○	○ ○ ○	○ ○	 ○ ○	a:第二次世界大戦後の諸地域世界について、現在まで続く課題に対する関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 b: 第二次世界大戦後の諸地域世界について、現在の政治・経済の動向と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している c: 第二次世界大戦後の諸地域世界の問題などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d: 第二次世界大戦後の諸地域世界についての基本的な事柄を、世界の政治・経済の動向と関連付けて理解し、その知識を身につける。	定期考査 ワークシート レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。